

テクニカルダイアリー

成東経済センター 水稲専門指導員 大谷 彬

やさいの里営農センター 営農指導員 川島 俊一

ラウンドアップマックスロードは、専用のノズルを使用すると、従来よりも少ない水量で同じ薬量を散布することができます(写真④、図②)。

- ④ 年内に耕運をし、残った塊茎を破壊または地表に露出させる。
- ③ 除草剤散布後は2週間程度耕運をしない。
- ② 霜が降りて雑草の生育が停止する10月末までに、根まで枯らすタイプの除草剤(ラウンドアップ等)を再生した雑草に散布する。
- ① 稲の収穫時、20㍍を目安にやや高めに刈り取る。

防除方法

多年生雑草の多くは、地上部を枯らしても地下の塊茎が残っていると、翌年の発生源となります。収穫終了後に再度発生するため、防除を行い、発生源を減らしましょう。

難防除雑草について

多年生雑草の多くは、地上部を枯らしても地下の塊茎が残っていると、翌年の発生源となります。収穫終了後に再度発生するため、防除を行い、発生源を減らしましょう。



ラウンドノズル®ULV5セット 動力用



ラウンドノズル®ULV5セット バッテリー・人力用

写真④ ラウンドアップマックスロードとラウンドノズル

ラウンドノズルは、推奨噴霧機以外では使用できないので、購入前に確認してください。また、ラウンドアップ以外の除草剤では使用しないでください。



写真⑥ クログワイ

●クログワイ(写真⑥) 細長くまっすぐ伸び、少量の花茎を形成し、地下茎を伸ばして分株を繰り返します。休眠性を持つため、発生がまばらで長期に及びます。



写真⑤ 稲刈り後に再生したオモダカ

●オモダカ(写真⑤) 矢じりのような葉を形成し、くちばしのような芽を持つ塊茎から発生します。土中の寿命は約1年ですが、適当な乾燥条件に置かれた場合は、数年生存します。

主な多年生雑草について

- ① 被覆時期と防寒対策 ソラマメは、幼苗(本葉5枚まで)期は寒さに強いですが、越冬時に大きく育った株は耐寒性が弱くなるので、無理な早播きは避けましょう。また、被覆時期が早いと生育が進み過ぎるため、1月下旬以降を目安に行いましょう(写真①)。
- ② 病虫害対策 モザイク病・萎黄病は、アブラムシがウイルスを媒介することで発生する病気です(写真②)。
- ③ 生育初期に感染すると、成長が阻害されて枯死に至る場合もあります。

① 被覆時期と防寒対策 ソラマメは、幼苗(本葉5枚まで)期は寒さに強いですが、越冬時に大きく育った株は耐寒性が弱くなるので、無理な早播きは避けましょう。また、被覆時期が早いと生育が進み過ぎるため、1月下旬以降を目安に行いましょう(写真①)。

次年度対策

② 病虫害対策 モザイク病・萎黄病は、アブラムシがウイルスを媒介することで発生する病気です(写真②)。

昨年度の振り返り

③ 生育初期に感染すると、成長が阻害されて枯死に至る場合もあります。



写真① ソラマメの防寒対策

防寒対策として、支柱を使い、被覆する

強風に飛ばされないように、マイカー線などで押さえるとよい

連作を行うと感染リスクが高まるので、土壌消毒を作付け前に行うか、同一圃場での栽培はできれば5年以上(最低でも1年)空けて行いましょう。また、播種時または定植時にアドマイヤー1粒剤を処理し、年内にアブラムシが発生するようであれば、追加で消毒を行います。気温が上昇する頃にアブラムシが発生するので、発生前に予防することが重要です(表①参照)。

表① 未成熟ソラマメのモザイク病・アブラムシ類防除薬剤

薬剤名	使用量・希釈倍率	使用時期	使用回数
バスアミド微粒剤	30kg/10a	播種21日前または定植45日前まで	1回
アドマイヤー1粒剤	3kg/10a	播種時	1回
	2g/植穴	定植時	
モスピラン顆粒水溶剤	4000倍	収穫7日前まで	3回以内
スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫3日前まで	3回以内



写真② ソラマメのモザイク病



写真③ ソラマメの萎黄病

(写真②・③ともに「農文協電子図書館」より引用。農文協電子図書館は、各経済センターのタブレット端末で閲覧ができますので、ぜひご利用ください。)

8月の分析経過について

残留農薬分析点数	多成分一斉分析	合計5点
	抑制トマト	2点
	抑制ミニトマト	1点
	サツマイモ	1点
	秋香ゴボウ	1点
※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。		
土壌診断点数		合計35点

図② ラウンドアップマックスロード 水田刈跡の登録内容

薬剤名	使用薬量	10a当たりの使用量	
		通常ノズル使用	ラウンドアップノズル使用
ラウンドアップマックスロード	500～1000mL	50L～	5L～

「営農情報メール」配信中! 登録無料!!

作柄情報 病虫害対策 青果物概況 イベント案内 など

◆登録は、右のQRコードまたはJA山武郡市のホームページから!(スマートフォンもしくはパソコンのメールアドレスをご登録ください。)

◎JA山武郡市の組合員なら、どなたでも登録できます!!

最新情報をお届けします